

平成22年度

十和田市セーフコミュニティ標語コンクール入賞作品発表

セーフコミュニティとわだをすすめる会では、市内小中学生を対象に、安全安心なまちづくりについて理解を深めることを目的に「平成22年度十和田市セーフコミュニティ標語コンクール」を開催しました。

コンクールには約700名の児童生徒から応募があり、審査の結果、次の通り入賞作品が選出されました。

問セーフコミュニティ推進室 ☎⑥6777

賞	氏名	学校名・学年	標語
特選	布施 亨伍	南小学校 6年	言葉のパス 笑顔のパス ハートでキャッチ ぼくの街
入選	高村 昂正	東小学校 1年	おかたづけ ぼくの家から セーフコミュニティ
	野月 菜奈子	大深内中学校 2年	家族みんなに 今日も無事故の プレゼント
佳作	諏訪 さくら	北園小学校 2年	ルールを守る その気持ち みんながもてば 事故は0
	坂本 圭吾	松陽小学校 3年	あいさつが 大きくひびくよ 町中に みんなを守る 大事な声
	小又 風香	東小学校 4年	「気を付けて」 やさしい心で みんなが笑顔
	佐藤 秀奈紗	高清水小学校 5年	ヘルメット 自分を守る かたい意志
	鶴谷 英士	切田中学校 1年	街中を いつも見守る 優しい目
	佐藤 麗奈	大深内中学校 3年	止まりなさい じーっと見てるよ 赤い目が

※入賞作品は、セーフコミュニティ普及啓発物品（のぼり旗、リーフレットなど）に掲載し、広く啓発活動に活用します。

中央病院からのお知らせ

救急外来



■主に入院が必要な患者に対応しています

中央病院は入院や手術を要する症例に対し医療を行う二次救急病院です（一次救急は入院や手術を伴わない医療、三次救急は二次救急まででは対応できない重篤な疾患の医療）。救急の専門医がいないため、夜間・休日は各科の医師が交代で診療に当たっています。そのため、スタッフ数や行える検査も限られますので、翌日も症状が治まらない場合は、かかりつけ医か当院専門医の受診をお願いしています。

当直医が診察し、病状が重篤で専門医の治療が必要と判断した場合は、

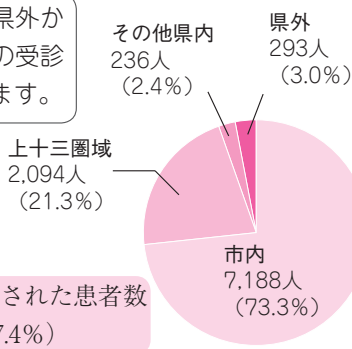
お願いしています。

平成21年度中央病院地域別救急患者数

最近では、県外からの観光客の受診も増えています。



救急車で搬送された患者数は1,711人（17.4%）



専門医を呼び出し治療します。医師不足のため、呼び出された医師は翌日交代する医師がいません。医師のがんばりに頼っているのが現状です。

■重い症状以外は「休日当番医」を

中央病院は救急車を受け入れてくれるため、救急が入るとほかの患者を長時間待たせることとなります。休日は症状が重くない場合、「休日当番医」を受診しましょう。なお、土曜日は開業医も診察しています。

※当番医は「あおり医療情報ネットワーク」<http://www.qq.jp/faq/omori.jp>を参照ください。

■コンビニ受診はお控えください

救急外来は休日や夜間も休みなく診療しています。「夜間の方がいいから」「昼間は仕事があるから」などの理由で、24時間営業のコンビニのような感覚で、軽い症状でも受診するかが増えています。救急外来は本当に必要なときのみ利用してください。

※夜間や休日の受診者には、後日精算の診療料金一部預かり金制度を実施しています。

▼保険証を持参した場合は5千円▼持参しない場合は1万円▼預かり金がない場合は「納付誓約書」を提出

問 中央病院医事課

☎ ⑤121内線2020